

令和元年度 スクールコンサート 富永裕輔 ～明日への翼～

今年も、北九州市文化大使でシンガーソングライターである富永裕輔さんの「スクールコンサート～明日への翼～」を、5校の中学校で行いました。

生徒に、「夢を持つことの大切さ」「自分らしさは、宝物」というメッセージを、自身の体験談を交えたトークと歌で、分かりやすく楽しく届けていただき、心に残るスクールコンサートになりました。

★開催校★

- 9/20 (金)
尾倉中学校
- 10/9 (水)
中央中学校
- 10/10 (木)
槻田中学校
- 10/11 (金)
二島中学校
- 10/19 (土)
志徳中学校



『ひまわりの花』この曲は、「NHK 北九州放送局80周年記念きたきゅうのうたグランプリ」を受賞した曲です。一番の宝物は一人ひとり違う自分らしさの種。その花を咲かせるためにときには試練もあるけれど、必ず乗り越えられるという力強い励ましが送られる「どんなときも太陽見上げ／まっすぐに生きていこう／ぼくたちはひまわりの花／この街に咲く／ひまわりの花」という歌詞を心温まるメロディーにのせて、生徒の心に届けていただきました。



また、人権教育教材「新版 いのち」に掲載されている『明日への翼』や北九州市の合唱部との交流から生まれた『Sing With You』も歌っていただきました。

貴重な和楽器「ゆう琴^{きん}」(写真左)の演奏もしてくださいましたよ。





富永裕輔さんとサポート・ミュージシャンのSho Hamada（ギター）〔中央〕さん、Cozy-Ash（クラリネット）〔左〕さん

中学校の時に音楽の歌のテストで一人で「サンタ ルチア」を歌った時に、恥ずかしがらずに大きな声で思い切って歌ったら、先生が「100点!」と言ってくれたことが、今も歌っていることにつながっているというお話をしてくださり、その「サンタ ルチア」をイタリア語のアカペラで歌ってくれました。マイクなしでも体育館に響き渡る富永さんの美しい歌声に圧倒されたり、聴き惚れたりし、歌声から喜びが伝わってきました。

参加生徒の感想文から

今日のスクールコンサートを通して、夢の大切さについて改めて感じることができました。富永さんは、私達くらいの年齢のころから、好きなことを見つけて、その好きなことに向かって突き進んでいくところがすごいなと思いました。私は、自分の好きなことがあまりわかりません。けれど、好きなことを見つけたら、全力で楽しみたいと思いました。

私には保育士になりたいという夢があります。その夢に向かって、少しずつでも進んでいきたいと思います。
(中学校 1 年生)

どの曲も歌詞がよくて勇気をもらいました。富永さんの声もよくて透き通っていて感動しました。富永さんからいろいろなお話を聞かせていただいて、夢をはやく見つけようと思いました。そして、夢に向かって、一日一日を大切にしようと思います。一緒に「明日への翼」も歌うことができ嬉しかったです。「明日への翼」の富永さんだけの歌声も聴きたかったです。家に帰っても聴きます。最後のアカペラの曲は、みんなの声に負けにくいくらいの大きさと、きれいでした。とても嬉しかったです。

(中学校 1 年生)

自分の今の心に刺さるような過去の体験やアドバイスなどもしてくれて、スクールコンサートは忘れられない思い出になりました。

今回のスクールコンサートで学んだことや経験を今後に生かしていきたいです。

(中学校 3 年生)

富永さんの歌を聴き、とても感情の詰まったいい歌だなと思いました。富永さんが中学生の時の話などを聞いて、何事にも挑戦することは大切なことだと思いました。「明日への翼」を本人と一緒に歌うことができ嬉しかったです。

(中学校 2 年生)